



✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Conformance with

ISO14025

ISO14040

ISO14044

LIXIL

株式会社LIXIL

スーパーウォール工法用 壁パネル T100

Structural Insulated Panels "T100"

for walls using "Super Wall Construction Method"



登録番号

SuMPO-EPD-2602-94-1

検証合格日

2026/2/5

公開日

2026/4/22

検証有効期間

2031/2/4

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建築用断熱材
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01001-1-0-0
PCR認定日	2025/9/30
レビューパネル委員長 (所属)	小林 謙介 (県立広島大学)
PCR有効期限	2030/9/29
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者 (所属)	唐木 カ (株式会社ヴォンエルフ)		

> 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社LIXIL 環境推進統括部 環境推進部
住所	東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー 24F
問い合わせ先	050-5785-3166
LCA算定実施者 (所属)	株式会社LIXIL LHT サステナビリティ企画推進部 今泉 直人
事業者概要	LIXILは、世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。

●製品情報

製品名称	スーパーウォール工法用 壁パネル T100		
製品の型式	硬質ウレタンフォーム複合パネル（住宅用断熱パネル）厚さ100mm		
製品仕様	製品質量	9.90kg	換算係数 9.90kg/m ²
	製品の用途	建築物の壁用断熱材	
	技術性能	<ul style="list-style-type: none"> ・熱伝導率(λ)：0.019 W/(m・K)（測定温度 23°C） ・熱抵抗値(R)：4.89(m²・K)/W ・算出規格：JIS A 1412-2 ・硬質ウレタンフォーム断熱材1種2号相当品（ノンフロム・ノンホルム） ・構造用パーティクルボード（JIS A 5908 認証 F☆☆☆☆） 	
耐用年数	年数	建物等の使用期間に準ずる	
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる	
	年数を設定した根拠	-	
製造サイト（製造拠点）	熊山工場（岡山県赤磐市）、鹿沼パネル加工センター（栃木県鹿沼市）		
製品概要	硬質ウレタンフォームと面材を一体化した、スーパーウォール工法（SW工法）用断熱パネル		
製品ウェブサイト	https://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/sw/product/panel01/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
発泡ウレタン	25.7	2.56
パーティクルボード	60.1	6.70
OSB	4.2	0.42
ライナー紙	1.4	0.14
断熱気密パッキン	0.8	0.08
フレキネジ	0.1	0.01
包装材構成要素	割合 (%)	質量
-	-	-

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	3.21	11.77
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 単一製品	<input type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品	
	サイトタイプ	<input type="checkbox"/> 特定サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 複数サイト		
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値	<input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		日本			
複数製品/複数サイトを含む EPDにおける代表性の説明		断熱パネルを製造する2工場は生産工程がほぼ同等であり、断熱パネル1m2を生産するときのそれぞれの項目の活動量を歩留まりを考慮して算出し、加重平均した値にIDEA係数を掛け合わせている。電力については日本の系統電力のデータを用いている。また本EPDはcradle to gateであるため出荷後の輸送は算定対象外である。			
複数製品/複数サイトを含む EPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		断熱パネルを生産する2工場のサイトからデータ収集している。			
複数製品EPDの説明		-			

> LCA関連情報

宣言単位	m2				
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	9.90kg				
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	-				
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave		
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD 3.2.0.0				
LCIデータベース	IDEA v3.1				
特性化モデル	GWP IPCC2013 100a、LIME2				
その他のバックグラウンドデータ	無し				
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント-ライフサイクルアセスメント-要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。				
一次データ収集拠点	熊山工場、鹿沼パネル加工センター				
一次データ収集期間	2022/4/1～2023/3/31				
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ			
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他		
	種類	-			
	購入日	-			
	発行元	-			

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
A1	A2	A3	A4	A5	資材関連					光熱水関連		C1	C2	C3	C4	
					B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ : 算定対象 - : 算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。結果断熱パネル製造プロセスにおいては全て同一でありアロケーションは実施しない。

> カットオフ

カットオフしている項目は無し。

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた研究開発や事務等に係るプロセスはシステム境界外としているが、事務所の電力は区分けが困難であるため算定対象とした。

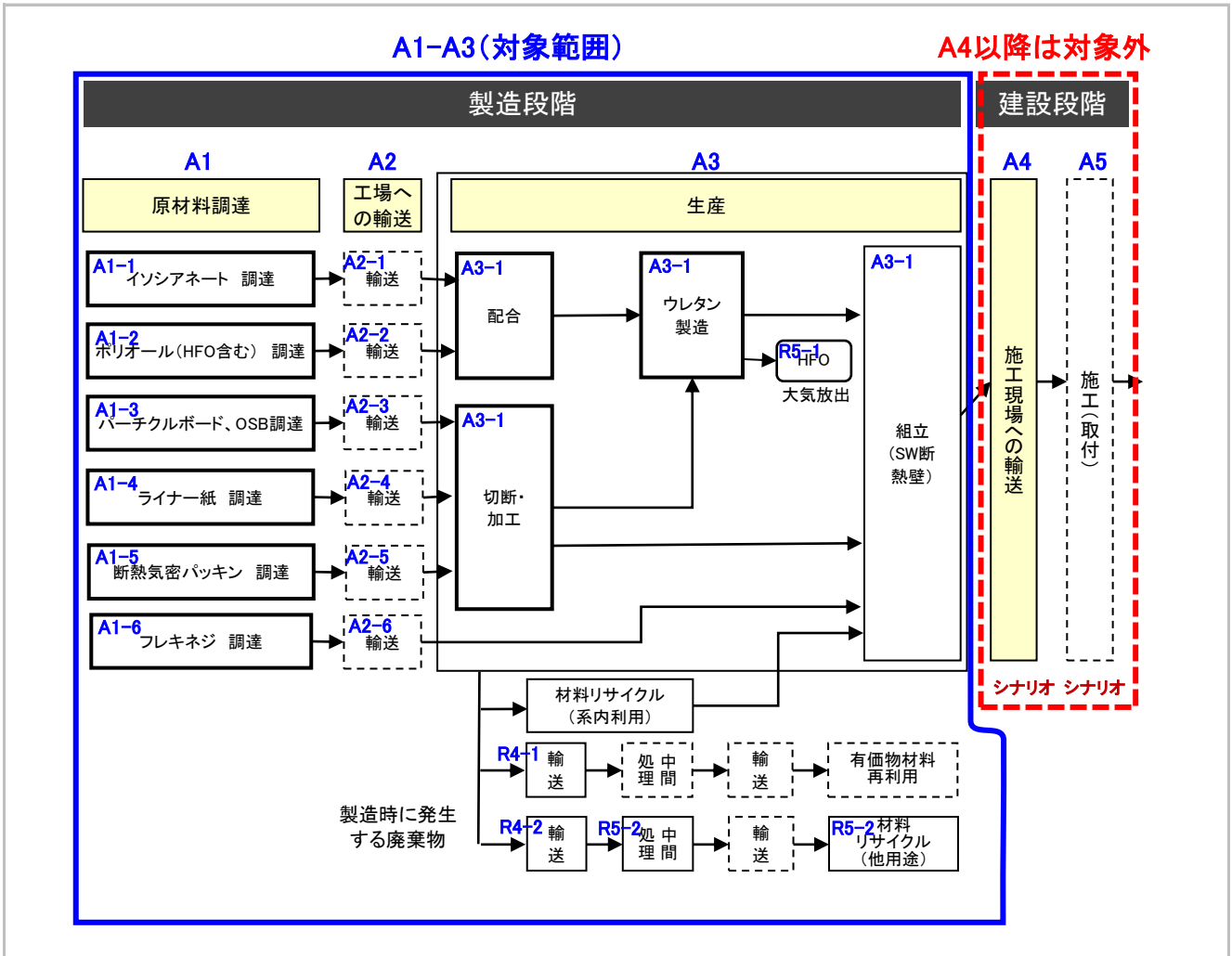
> シナリオ

モジュール	説明
A2、A3	輸送については輸送距離及び輸送手段・積載率はPCRのシナリオを使用した。

> 電力モデリング

日本の2工場の電力については2018年における日本平均の系統電力のデータを使用した。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		A1_原材料の調達	A2_工場への輸送	A3_生産	—	—	D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	8.93E+00	8.66E-01	1.94E+00	—	—	—
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.50E-06	1.16E-11	3.88E-07	—	—	—
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.13E-02	2.87E-03	1.87E-03	—	—	—
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	7.43E-03	1.08E-03	1.38E-03	—	—	—
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	4.91E-04	6.11E-06	3.30E-05	—	—	—
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.40E-03	4.31E-06	1.13E-04	—	—	—
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	2.86E-04	2.80E-06	5.45E-06	—	—	—
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.49E-01	1.38E-07	3.30E-03	—	—	—
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.07E+00	2.28E-06	7.56E-02	—	—	—
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	9.01E-04	8.91E-12	6.59E-06	—	—	—
土地利用(維持)	m ² /年	1.56E+01	7.27E-02	9.11E-03	—	—	—
土地利用(改変)	m ²	3.69E-03	1.45E-03	2.52E-04	—	—	—
資源消費	kg-Sbeq	1.41E-04	3.61E-06	1.13E-05	—	—	—

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		A1_原材料の調達	A2_工場への輸送	A3_生産	—	—	D 境界外
非再生可能資源	kg	1.27E-01	8.70E-07	3.85E-02	—	—	—
非再生可能エネルギー	kg	4.32E+00	2.64E-01	6.46E-01	—	—	—
非再生可能エネルギー	MJ	1.95E+02	1.19E+01	2.66E+01	—	—	—
再生可能資源	kg	8.90E+00	2.21E-07	1.94E-03	—	—	—
再生可能エネルギー	MJ	1.29E+01	3.01E-04	1.01E+01	—	—	—
淡水の消費	m ³	1.45E+01	1.77E-05	6.02E-04	—	—	—

> 廃棄物関連情報

		A1_原材料の調達	A2_工場への輸送	A3_生産	—	—	D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	—	—	—
無害廃棄物	kg	9.71E-02	7.53E-09	8.67E-02	—	—	—
一般廃棄物 埋立物	kg	6.64E-11	1.21E-17	7.78E-13	—	—	—
産業廃棄物 埋立物	kg	9.71E-02	7.53E-09	8.67E-02	—	—	—

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		A1_原材料の調達	A2_工場への輸送	A3_生産	—	—	D 境界外
再利用可能な部品	kg	—	—	—	—	—	—
リサイクル用材料	kg	—	—	—	—	—	—
エネルギー回収用材料	kg	—	—	—	—	—	—
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≧ 60%)	MJ	—	—	—	—	—	—
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効 率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	—	—	—	—	—
	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—	—
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生 する埋立ガスからのエネルギー 回収)	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—	—

> LCA算定結果に関する説明

・本EPDにおけるLCA算定では、製造サイトの活動量は一次データを収集しましたが、それに乗じるLCIデータには、一般的な二次データを使用しています。また、輸送についてはPCRシナリオに従って算定しています。そのため、結果は概算値となります。

・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

今回算定対象の熊山工場、鹿沼パネル加工センターはISO14001を取得しています。
個々の工場としてではなく日本の工場一括で取得しています。
審査登録証登録番号：JMAQA-E382

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—		

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products
- ・建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン（林野庁）

●改訂履歴

—